

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

【資料4】

基本目標1 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値に対する所見
就業者数	7,740人(平成27年)	6,300人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	6,300	—	実績値については、国勢調査実施年度である令和7年度のみ算出可能なため、令和3年度～令和6年度における実績値は算出不可。
			実績値	—	—	—	—	—	—	

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 人材育成・雇用対策									
① 地域人材の就労支援									
豊かな労働環境の充実支援事業	砂川高校からの市内企業就職率 ／36.7%(令和元年)→40.0%(令和7年)	目標値	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	—	市内就職率は前年から変わりなく推移している。効果的な取り組みを検討しながら、引き続き事業を継続していく。
		実績値	36.6	25.0	24.0			—	
② 企業立地等の促進による就労の拡大									
雇用創出事業(企業振興促進対策事業)	施設新設等を行った企業の新規雇用者数 ／0人(令和元年)→15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	新たな施設増設の補助実績が1件(シロ)あったが、新規雇用に係る助成申請は次年度受付予定。今後2社(ほくやく、ライフニックス)に施設新設・増設の補助予定のため、引き続き事業を継続していく必要があると考える。
		実績値	0	0	0			0	
③ 医療・介護従事者等の確保・育成									
介護人材育成支援事業	研修終了者数 ／1人(令和元年)→35人(5年間)	目標値	7	7	7	7	7	35	研修修了者が増えていることから目標値よりも少ない実績となったが、当初予算で見込んでいたとおり受講後も継続して就労した5名が補助対象となった。引き続き、介護人材の安定確保のため制度活用の推進に努める。
		実績値	7	6	5			18	
④ 農業の担い手の確保・育成									
農作業受託組織等育成支援事業	農作業受託面積 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが、農作業受託団体等の組織の設立までは至らなかった。今後も組織の設立を促進していくとともに、農作業を受託している団体等へは機械導入費用などを支援する。
		実績値	0	0	0			—	
新規就農者支援事業	新規就農者数 ／3人(第1期6年間)→4人(5年間)	目標値	0	1	1	1	1	4	今年度は1人(果樹)が新規就農した。今後も引き続き新規就農者の誘致の取り組みを図るとともに、新規就農者に対して農業機械や資材等の購入への支援を実施する。
		実績値	2	0	1			3	
(2) 産業の競争力強化									
① 商工業振興策の実施									
地域ブランド定着推進事業	チームを構成する事業者数 ／21事業者(令和元年)→75事業者(令和7年)	目標値	41	51	59	67	75	—	(一社)オアリパによるイベントの実施や活動により認知度が向上し、参加事業者数が増えている。今後は(一社)オアリパと連携を図り商品開発など各種事業の実施により地域ブランドの定着を推進する。
		実績値	40	47	50			—	
	地域ブランドの商品数 ／22品(令和元年)→50品(令和7年)	目標値	30	35	40	45	50	—	(一社)オアリパとの連携により、市内外でのイベントに出展するとともに新たに2つ商品を開発した。今後も事業者同士の連携を促し、商品開発に取り組みたい。
		実績値	29	29	31			—	
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数及び事業承継件数 ／2件(令和元年)→4件(令和7年)	目標値	2	2	3	3	4	—	ワンストップ相談窓口などの創業支援事業及び関係団体の連携により、1件の創業が実現した。また、商工会議所による創業セミナーが開催され、延21人(実8人)が参加した。今後とも関係団体と連携して情報発信等を行い、創業希望者を支援する。
		実績値	5	6	1			—	
② 農業振興策の実施									
農業6次産業化支援事業	連携取組数 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが実績はなかった。今後も6次産業化に向けた取り組みを推進するとともに、各種支援制度について情報提供などを行う。
		実績値	0	0	0			—	

小計(事業数:8、KPI数:7)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値に対する所見
観光入込客数	1,625千人(令和元年)	1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、各観光関連団体による事業が再開されたことにより、コロナ禍前の状況に戻りつつあるが、生活意識・行動の変化等の影響により、目標値を下回ったものとする。今後は引き続き、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
			実績値	902.9	1,168.5	1477.4				

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 地域と多様な形で関わる人口の拡大									
① 移住定住の促進									
移住定住促進事業	お試し暮らしの利用組数 ／7組(令和元年)→55組(5年間)	目標値	11	11	11	11	11	55	令和5年度のお試し暮らしの利用は、利用者数が13組28人と昨年度(6組10人)より増加し、目標値を達成した。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、行動が拡大したことが原因と考えられる。令和6年度はさらなる利用者の増加を目指し、引き続き市HPや協力隊SNS等による情報提供の充実を図るとともに、コロナ禍で中止していたお試し暮らし利用者との交流会を再開するなど、お試し暮らしの内容の充実も図る。
		実績値	2	6	13				
医療・介護従事者移住定住促進事業	補助金交付件数 ／一件(令和元年)→10件(各年度)	目標値	10	10	10	10	10	—	目標値に対し、1件の増であり、概ね見込みどおりの実績であった。今後においても、情報提供の充実を行い、利用促進を図る。
		実績値	9	9	11				
UIJターン新規就業支援事業	支援金交付件数 ／一件(令和2年)→1件(各年度)	目標値	—	1	1	1	1	—	該当企業に勤務等する実績がなく、件数は0件となっている。企業訪問等を通してPRしているが、今後も事業周知に努め、実施していく。
		実績値	—	0	0			—	
	マッチングサイト求人掲載数 ／一社(令和2年)→5社(各年度)	目標値	—	5	5	5	5	—	1件(シロ)の新規登録があったが、今後も事業周知に努め、掲載数の増加に努める。
		実績値	—	0	1			—	
② 観光振興の推進									
観光客誘客宣伝推進事業	観光入込客数 ／1,625千人(令和元年)→1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、各観光関連団体による事業が再開されたが、約3年のコロナ禍での生活意識や行動変化等の影響により、目標値を下回ったものとする。今後は引き続き、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値	902.9	1,168.5	1477.4				
砂川観光協会ホームページアクセス数 ／132千件(令和元年)→134千件(令和7年)	砂川観光協会ホームページアクセス数 ／132千件(令和元年)→134千件(令和7年)	目標値	132.4	132.8	133.2	133.6	134.0	—	新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、各観光関連団体による事業が再開されることに伴い、雑誌やテレビ、SNS、観光協会ホームページなど各種メディアを活用し情報発信したことにより、目標値を上回ったものとする。今後は引き続き、情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値	132.6	157.7	161.2				
ふるさと応援寄附金推進事業	ふるさと応援寄附者の情報メール新規登録件数 ／87件(令和元年)→120件(各年度)	目標値	120	120	120	120	120	—	ふるさと応援寄附金の寄附者が増えたことによる増加。今後は、返礼品を充実させ、寄附者のさらなる増加を目指す。
		実績値	231	175	426				
③ まちなかのにぎわい創出									
駅前地区整備事業	施設前の歩行者通行数 ／273人/日(令和元年)→327人/日(令和7年)	目標値	—	—	—	330	327	—	施設整備前のため、歩行者数を計測していない。
		実績値	—	—	—			—	
(2) 高等学校の活性化									
① 地元学校への進学促進									
砂川高校支援事業	砂川高校入学間口数 ／3間口(令和元年)→3間口(令和7年)	目標値	3	3	3	3	3	—	令和5年度も2間口だが、入学者数は65人であり、前年度(62人)より増となった。今後も、充実した支援内容の検討と、砂川高校の特色を広く周知するための方策についても連携を図っていく。
		実績値	3	2	2				

小計(事業数:7、KPI数:9)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値に対する所見
出生数	74人(令和元年)	108人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	108	—	令和5年の出生数は53人、合計特殊出生率は1を割る0.87となった。妊娠・出産には多様化するライフスタイルや経済状況等の要因が関連する。妊娠を望む女性が健康で安心した出産、育児ができる環境を推進していく。
			実績値	72	83	53				

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援									
① 婚活支援の推進									
すながわ出会い創出支援事業	実施事業への参加者数 ／0人(令和元年)→30人(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	令和5年度も新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したものの、影響がまだ続いていることにより事業の実施には至らなかったが、すながわ出会い創出支援協議会を開催し、次年度のイベント開催に向けた情報交換を行った。令和6年度は2団体がイベントの実施を予定しているため、各団体と協力・連携し、イベントのPRを行う。
		実績値	0	0	0			—	
結婚新生活支援事業	支援を受けた組数 ／—組(令和元年)→5組(各年度)	目標値	5	5	5	5	5	—	対象となる可能性のある新婚世帯には漏れなく周知を行っており、実績値は目標値の5組を上回っている。今後も制度の周知を図るとともに、対象者の拡大等、国の制度改正状況を注視していく。
		実績値	5	3	10			—	
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援									
① 妊娠・出産への支援の実施									
特定不妊治療費助成事業	利用者アンケートにおいて「満足」と回答した割合 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値は未達成であった。今年度は実2人延4人に助成した。アンケートでは、保険適用前の助成制度の方が負担が少なかったとのこと。同年先進医療等への助成拡大をしたところで、引続き法制度改正後の実態を把握し、検討していく。
		実績値	100.0	100.0	0.0			—	
妊婦一般健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用枚数 ／525件(令和元年)→670枚(各年度)	目標値	670	670	670	670	670	—	妊娠届出70名、転入10名。全妊婦が必要な時期に健診を受診している。里帰りの場合も各医療機関と委託契約を締結して、経済的負担の軽減を図っており、今後も継続していく。
		実績値	577	528	501			—	
子育て世代への切れ目のない相談支援事業	訪問指導実施率 ／—(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値の内訳は、初妊婦訪問は96.7%(来所面接1件含む)で、未訪問の1件は早産によるものであった。乳児全戸訪問は、里帰りの未訪問者の2名を除き96.6%。未訪問者には次年度に訪問済みであり、妊娠期からの継続した乳幼児健診等の相談・学習の機会が継続されている。
		実績値	96.9	95.6	96.7			—	
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／44.7%(令和元年)→60%(各年度)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	登録者29名の内、1名の利用があった。妊娠届出や中期面談時に周知を徹底しているが、登録率の目標に達していないことは、家族等の協力がある家庭が多いと推測する。引続き、必要な妊婦へ事業が認知され、出産時の安心に繋がるよう、周知を継続していく。
		実績値	46.1	52.6	48.3			—	
② 子ども・子育て支援の充実									
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育充足率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	利用登録者113名、実利用者29名、延べ利用者数164名。利用登録者、実利用者、延べ利用者ともに前年度比で増となっていることから、随時実施しているしおりやホームページ等での周知により事業が保護者に定着してきたとともに、利用者アンケートによるサービス満足度が高いことから、実績の増加につながったと考えられる。引き続き、保護者のセーフティネットとして施設の理解促進と安全・安心な環境を整備していく。
		実績値	100.0	100.0	100.0			—	
市立保育所開放事業	参加親子組数 ／102組(令和元年)→150組(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	今年度においても開催中止はなかったが、前年比で参加親子組数が減となっている。保育所内での感染症等の発生状況を情報提供した上で、予約受付を行ったところであり、参加を控えた世帯もあった。保育所が持つ専門的機能を地域の保護者へ積極的に提供していく必要があり、今後利用者が増加するように取り組む。
		実績値	24	37	33			—	
市立保育所一時保育事業	一時保育事業実施率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	延べ利用者365名。私的理由(主にリフレッシュ)での利用がおよそ7割、「非定型的保育」での利用が2割、1割が「緊急保育」による利用である。人口減少等により延べ利用者数が減少傾向であるが、一時的に保育を必要とするニーズが高く、今後も引き続き様々なニーズに応えられる体制を整えていく。
		実績値	100.0	100.0	100.0			—	
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(令和元年)→0人(各年度)	目標値	0	0	0	0	0	—	今年度も待機児童を出さずことなく運営できた。年度途中の指導員及び補助指導員の退職により、人材確保に苦労したが安定的な運営を維持することができた。令和8年度に義務教育学校が新設されることに伴い、学童保育所の開設及び運営方法等について検討すべき課題がある。
		実績値	0	0	0			—	
保育・教育施設ICTシステム導入事業	利用者登録率(保育所) ／—(令和4年)→100%(令和7年)	目標値	—	—	100.0	100.0	100.0	—	コードモニアプリの保護者利用登録率は100%であり、児童の欠席連絡、登降園管理、保育所からお知らせ等で、コードモニアプリを活用して保護者と連絡を行っている。保育所におけるコードモニアプリで使用する機能を段階的に広げており、引き続き保護者の利便性の向上を図るため取り組んでいく。
		実績値	—	—	100.0			—	
	利用者登録率(小中学校) ／—(令和4年)→100%(令和7年)	目標値	0	0	100.0	100.0	100.0	—	目標値を概ね達成しているものであり、学校と保護者間の連携がより図られるよう、運用方法について学校と協議を進めていく。
		実績値	0	0	99.7			—	

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
③ 子育て世帯の経済的負担の軽減									
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	クーポンを利用した世帯の割合 ／57.7%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	新型コロナウイルス感染症は5類へ移行されたものの、クーポン券利用世帯数は前年と比較してほぼ横ばいである。コロナ前の令和元年度と比較すると6.8%の減となっており、熊の出没による利用控え等が要因として推察される。今後においても引き続き周知を図っていく。
		実績値	32.7	49.7	50.9				
子ども医療費無料化事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	8,400	8,400	—	—	—	—	令和5年8月からの対象者の拡大の影響により、前年に比べ医療扶助費が増大したことから、子育て世帯の負担軽減に役立てられていると考えられる。令和6年4月から中高生も対象者となることから、引き続き子育て世帯の負担軽減となるよう、必要な時に医療を受けやすい環境の整備を継続していく。
		実績値	7,493	7,758	—	—	—	—	
インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	接種率 ／55.9%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	60.0	—	希望する人が接種できない声はないが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染症対策が緩和されたことも要因と考えられるが、滝川保健所管内で昨年インフルエンザの発生報告のない助成期間前から罹患が報告されていた。そのため、11月以降の接種期間における実績は減少したと推測する。次年度は新型コロナワクチンの定期化にあわせて、助成期間を延長する予定であるため、希望する方が接種しやすくなると考える。今後も自己負担額の助成を継続していく。
		実績値	39.9	45.9	40.6				
学校給食費無償化事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	学校給食費を無償化したことにより、子育て世帯の経済的負担を軽減できた。令和6年度においても継続して実施する。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
④ 小中学校の学習環境の充実									
放課後学習サポート事業	授業理解度 ／85.0%(令和元年)→87.5%(令和7年)	目標値	85.0	85.0	85.0	87.5	87.5	—	結果として目標値を上回り、全国・全道平均と比べても上回った。学校における授業改善と本事業における補充的な学びが両輪として機能し、一定の成果があったものとする。今後も引き続き参加者増をねらうべく周知を充実させ、学習意欲の向上と学習内容の理解を深化させる指導を推進する。
		実績値	87.8	83.0	85.8				
中学校英語教育推進事業	英語検定合格率 ／—(令和元年)→50%(令和7年)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	実施3年目となった令和5年度では、89名の受検があり58名が合格した。(65.2%) 合格率としては目標値を超え一定の効果はあったと考える。しかし、受検者が全体の約27%であることから、前年度より微増となったものの、学校との連携を図りながら当制度の更なる活用を奨励していく。
		実績値	75.0	69.3	65.2				
小中学校適正配置推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	砂川市立小中学校統合準備委員会を9回開催し、義務教育学校の校名を「砂川市立砂川学園」と決定した。また、砂川市立小中一貫教育推進委員会を6回開催し、小中一貫教育の導入・推進に向けて議論を重ねた。今後も統合準備委員会では、校歌や校章、スクールバスについて協議を重ね、推進委員会においては、小中一貫教育の導入・推進に向けた協議を行うとともに、小中一貫教育全国連絡協議会に加入するなど、令和7年度からの小中一貫教育の導入と、令和8年度の義務教育学校の開校を円滑に進める。
		実績値	—	—	—	—	—	—	

小計(事業数:18、KPI数:16)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標4 安心して暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値に対する所見
人口増減率	△7.04%(平成27年～令和2年)	△5.13%(令和2年～令和7年)	目標値	—	—	—	—	—	△5.13%	基準値と令和5年度の実績値(H30～R5)を比較すると、人口減少が進んでいる傾向がみられる。R4年10月～R5年9月の自然・社会増減の合計は△363人と、進行管理開始後、最も減少がみられた。前年度(R3年9月～R4年10月)の各減少値と比較すると自然減は△128人、社会減は△58人となっているため、自然減と社会減両方の対策が必要と考えられる。今後も転出入者の動向を確認し、どのような傾向が見られるか調査を進め、対策につなげる必要がある。
			実績値	△7.77%	△8.38%	△9.11%	—	—	—	

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保									
① 地域包括ケアシステムの充実									
砂川市地域包括ケアネットワーク事業 (情報共有ネットワーク事業)	事業所が参照したデータ件数 ／21,866件(令和元年)→22,000件(令和7年)	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	—	令和5年度も引き続き市内の8割以上の医療機関及び介護事業所等が加入しており、患者の情報提供の同意件数及び情報の参照件数も安定的に推移している。医療・介護連携に活用されており、今後ますます在宅医療と介護をつなぐ地域包括ケアが重要となることから、引き続きシステムを活用し情報連携の充実を図る。
		実績値	30,378	29,921	29,215	—	—	—	
② 健康維持・増進の推進									
健康管理支援事業	国保特定健診受診率 ／54.7%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	R4年度の実績値は暫定値で46.7%で、前年同時期比較では3.6%上昇し、法定報告の確定値では52.0%となった(道内市の上位2位)。コロナ禍前と比べ、健診等の受診控えやコロナワクチン接種業務の増大などで、ここ数年受診率が低下しているが、コロナ禍前に戻りつつある。がん検診は、乳がん検診71人、子宮がん検診21人と受診数が増えたが、胃・肺・大腸がん検診は、受診数は増えず、昨年度よりも低率となった。乳幼児健診は、例年通りほぼ100%を維持している。国保特定健診、がん検診は未受診者勧奨を行い、受診率向上を目指す。
		実績値	確定値48.3	確定値52.0	暫定値47.7	—	—	—	
健康ポイント事業	参加申請者数 ／991人(令和元年)→1,250人(令和7年)	目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	—	ポイント対象事業の特定健診やがん検診等は計画どおり実施し、目標値の約8割達成。市民の参加割合も6.9%前後と横ばい状況。参加申込には、インターネット申請を取り入れたが、ポイントカードの受領、特典交換には来所が必要なことや対象事業が少ないことも伸び悩みの一因と考える。次年度は、事業の体制を見直し、事業対象年齢を20歳から18歳に引き下げるとともに、対象事業実施団体を拡大し、その団体参加者への周知も行うなど、積極的に周知を行う。
		実績値	905	893	877	—	—	—	
若年者生活習慣病予防健診事業	保健指導実施率 ／—(令和元年)→100%(令和7年)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	小学5年生13名(受診率13.4%)成人2名に実施。小学5年生については、保護者と本人に面接し(本人がやむを得ず来所できない場合は保護者のみ)、健診結果について伝え、精密検査や治療が必要な児は精検票を用いて医療につなげた。また成長発達を促すための保健指導と栄養指導を実施した。今後も将来の生活習慣病を予防するために、保護者の既往、現病歴、家族歴なども聞き取りながら保健指導を実施していく。次年度は妊婦健診からの事後支援と小学5年生への継続支援として産後の母と中学2年生にも対象を拡大し健診と事後指導を実施する。
		実績値	100.0	80.0	100.0	—	—	—	
いきいき元氣推進事業	レクリエーション活動等の利用者数 ／—(令和元年)→480人(各年度)	目標値	480	480	480	480	480	—	新型コロナウイルス感染症に係る行動制限がなくなり事業が実施しやすくなったことに伴い実績値が増えたと分析している。令和6年度は経験者から経験の浅い隊員へと体制が変わるため、これまでの水準を低下させないよう事業を実施できるかがポイントとなる。
		実績値	143	612	986	—	—	—	
③ 高齢者等の在宅生活の支援									
地域高齢者見守り事業	情報交換を実施した団体数(3年で一巡) ／30団体(令和元年)→30団体(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	昨年度同様に高齢者名簿情報提供事業で町内会役員が社協を訪れた際に地域包括支援センターと共に地域実情及び活動状況について聞き取りを実施したが、来所されるタイミングと担当の都合が合わないケースがあり、目標値を下回った。次年度以降、情報提供時に会えなかった場合は後日聞き取りを実施するなど情報交換を行っていく。
		実績値	0	39	24	—	—	—	
生活支援体制整備事業	地域事情の把握に努めた町内会・自治会の数 ／4団体(令和元年)→15団体(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	令和5年度は前年度まで実施してきた「地域の魅力と絆を語る会」の中で地域のニーズとして把握した見守り対象世帯の鍵の預託に関し、サービスの事業化に向けた協議を行ったため、新規の聞き取りを行わなかった。生活支援整備体制事業推進協議会の中で具体的な協議を進めたが、結果的に地域の体制整備を含め、更に協議検討していくこととなった。また、介護事業所等へのアンケートを実施したことから、その結果も踏まえて今後の活動の提案に繋げていく。
		実績値	3	1	0	—	—	4	
④ 地域公共交通の確保・維持									
JR砂川駅設備改善事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	北海道新幹線札幌延伸工事や千歳市の次世代半導体製造拠点整備等の影響により、JR北海道の人員不足が恒常化しており、整備改善事業の協議は進展しない状況にある。また、令和12年度末の開業時期の延期を建築主体の鉄道建設・運輸施設整備支援機構とJR北海道で調整が図られていることから、早期実現が厳しい状況にあるが、引き続き、北海道にも協力を仰ぎ、JR北海道と連携を図りながら、駅利便性向上の実現に向け、開業本工事の事前準備として行う測量調査や設計委託等の実施の可能性について協議を進めていく。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
予約型乗合タクシー運行事業	乗合タクシーの利用者数 ／8,431人(令和元年)→8,431人(各年度)	目標値	8,431	8,431	8,431	8,431	8,431	—	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、外出の機会が増えたことから、利用者が増加した。今後も市民の日常生活に必要な交通手段を確保することで、市民生活の利便性の向上を図る。
		実績値	8,583	9,304	10,762	—	—	—	
⑤ 災害対策の実施									
防災情報発信事業(災害対策事業)	SNS砂川市公式アカウント登録率 ／—(令和元年)→13%(令和7年)	目標値	8.2	9.4	10.6	11.8	13.0	—	悪天候が予想される場合の注意喚起情報などについて情報発信した。今後もSNSの特性を生かした情報伝達を進め、登録増を目指す。
		実績値	15.6	19.5	23.1	—	—	—	
自主防災組織育成事業(災害対策事業)	自主防災組織数 ／13団体(令和元年)→15団体(令和7年)	目標値	14	14	15	15	15	—	新規設置なし。消防と連携して町内会長へPR活動を実施しており、現在2町内会が設立予定である。今後も新規設置の働きかけを続ける。
		実績値	13	13	13	—	—	—	
⑥ 暮らしを支えるデジタル化の推進									
住民票等コンビニ交付サービス事業	発行した証明書の件数 ／—(令和2年)→2,121件(令和7年)	目標値	—	264	1,272	1,483	2,121	—	サービス開始から1年が経過し市民等への認知が徐々に広まり、また、マイナンバーカード保有枚数率の増加に伴い、目標値を上回る安定的なサービス運用が図られている。今後も引き続き窓口や市HP等での周知に努める。
		実績値	—	328	1,440	—	—	—	
	マイナンバーカード保有枚数率 ／27.4%(令和2年)→100%(令和7年)	目標値	—	50.0	60.0	70.0	100.0	—	広報等の内容を工夫し、カードの作成意欲を高める情報発信を行うなど多様な周知を行ったことが考えられる。今後は、マイナンバーカードの健康保険証利用や国外転出者の利用などの周知を行う予定。
		実績値	—	72.6	74.2	—	—	—	

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和5年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化									
① 良質な住宅ストックの確保									
ハートフル住まいる推進事業	補助金交付件数 ／216件(令和元年)→150件(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	前年度と比較しても実績額、実績値が増加しており、年々市民の関心が高くなっているのが窺える。5つの補助金事業として実施しているが、誰もが安全に安心して住み続けることができる住環境づくり、定住促進、まちなか居住に寄与しているものであり、今後においても、社会情勢や需要の変化など、状況に応じた制度の見直しや拡充を行い、事業を継続する。
		実績値	258	266	269			—	
住み替え支援事業	補助金交付件数 ／115件(令和元年度)→87件(各年度)	目標値	87	87	87	87	87	—	移住促進補助金の申請増が主なものであり、補助金制度のPR活動により、制度の浸透が図れたと考える。今後も継続してPR活動を行い、空き家の利活用や移住定住の促進を図る。
		実績値	95	103	112			—	
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成									
① 他の地方公共団体と連携した施策の実施									
広域行政推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	各種事業や共同処理事務は順調に実施され、広域的な事業展開が図られている。今後も第4次中空知ふるさと市町村圏計画に基づき、継続して広域連携を進めるとともに、計画期間終了後の共同処理の取扱いについて、検討を進める。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
定住自立圏推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	令和5年度は、地元学生を対象とした合同企業説明会を開催し、インフルエンザの流行により参加者は例年よりも少なかったものの、48名の高校生・短大生が参加し、地元企業を知る良い機会となった。今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信に継続して取り組むほか、他の連携事業についても他市町と連携・協力しながら実施する。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保									
① 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり									

小計(事業数:16、KPI数:14)

合計(事業数:49、KPI数:46)